

~News letter~



かもみーる通信



40号 2013年10月

トピックス

- * サイエンス夢追い人育成プロジェクト
- * 岐阜大学の現状

サイエンス夢追い人育成プロジェクト 実施報告

岐阜県立長良高等学校

平成25年9月10日（火）に長良高等学校の1年生393名を対象とした出前講義を実施しました。

応用生物科学研究科修士課程1年の小池田真知さんは、「とある大学院生のお話」と題し講義を行いました。講義の前半では、糖鎖について説明をしたのち、蛍光標識をつけた糖鎖の合成を目指し行っている研究について説明しました。進路選択については、中学生・高校生時代に数学が苦手な苦労したこともありましたが、化学への興味から理系を選択したことなどを紹介しました。



応用生物科学研究科修士課程1年の山下有希さんは、「わたしの進路選択」と題し講義を行いました。講義の前半では、ハーブの効能について紹介したのち、ハーブの効果が植物の病害対策にも有効であるのかを明らかにする実証的研究について説明しました。講義の後半では、高校時代に出会った1冊の書籍が植物の生態に興味を持つきっかけとなり、現在の研究生活へと繋がっていることを紹介しました。



連合農学研究科博士後期課程2年の戴燕燕さんは、「太陽熱消毒法による土壌病害虫の防除に関する研究と留学生活」と題し講義を行いました。講義の前半では、施設栽培の普及に伴い連作障害の克服が課題となっている農業の現状を紹介したのち、太陽熱消毒法によって連作障害を引き起こす土壌病害虫の防除を試みる研究について説明しました。講義の後半には、中国の高校生・大学生時代の経験や留学生活で感じたことについて紹介しました。



連合農学研究科博士後期課程2年の阿拉坦娜布其さんは、「私の研究と学生生活」と題し講義を行いました。講義の前半では、森林の生育には太陽光を確保するためにギャップとよばれる樹冠の間の隙間が重要であることを説明したのちに、リモートセンシングを用いてギャップの大きさを測る方法についての研究を説明しました。講義の後半では、大学生活や日本に留学するきっかけ、日本での研究生活について紹介しました。講義作りでは、専門知識のない高校生にわかりやすく伝えるため、平易な言葉を選びながらも正確な知識が伝わるよう心掛けていました。



講義を行った4名の大学院生は、今回の経験を通して、自身の研究内容について正確に伝えるプレゼンテーション技術を身につけることができましたようです。

岐阜県立可児高等学校

平成25年10月8日（火）に可児高等学校の1～3年生98名を対象とした出前講義を実施しました。



応用生物科学研究科修士課程1年の南谷理紗さんは、「わたしの進路選択」と題し講義を行いました。講義の前半では、植物の病害抵抗性を高めることを目的とした有用細菌の利用に関する研究について説明しました。講義の後半では、高校入学から岐阜大学応用生物科学部そして大学院へと進むまでを中心とした進路選択について紹介しました。高校生は、南谷さんがこれまでに進路をどのように決めてきたのかについて真剣な表情で聞き入っていました。



応用生物科学研究科修士課程1年の伊藤千弘さんは、「食物繊維に秘められたメッセージ」と題し講義を行いました。講義の前半では、食物繊維の摂取と小腸の絨毛の関係に関する研究について説明しました。講義の後半では、化学への興味が大学選びに大きく影響したことや、岐阜大学を選んだ理由について紹介しました。研究内容は難しい内容であったものの、高校生にもわかりやすく伝えることができ、講演終了後には多くの学生から質問を受けていました。

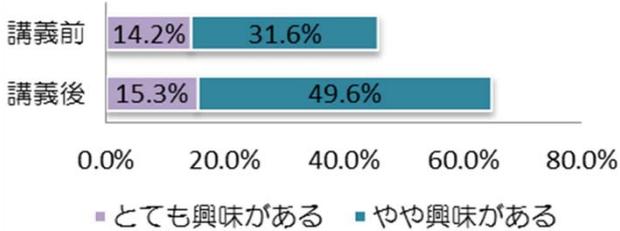


今回の講師を務めた院生にとっては、いずれも2回目の出前講義体験でした。初めて講師を務めた前回の講義体験を活かして、限られた時間の中で受講生が理解できるように随所に工夫が加えられました。出前講義の準備は大変なこともあります。回数を重ねることで確実に伝える力が養われているようです。

アンケート結果

岐阜県立長良高等学校

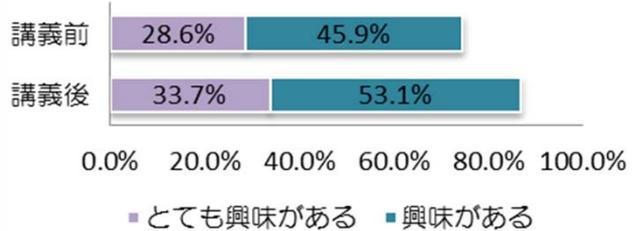
科学や研究への興味



- 自分も理系に進みたいが、数学が苦手、自分と先生が似ている境遇ということに少し安心しました。先生のおかげで自信ができました！
- 研究ってかっこいいと思いました。普通科と美術科の選択で迷ったところが似ていて共感できました。
- 進路選択の参考になりました。
- 大学について具体的に学べたので良いと思いました。
- 大学の選び方がとてもよくわかりました。自分の進路を考える上で、とても参考になりました。
- このセミナーで、大学に進学したいと強く思いました！

岐阜県立可児高等学校

科学や研究への興味



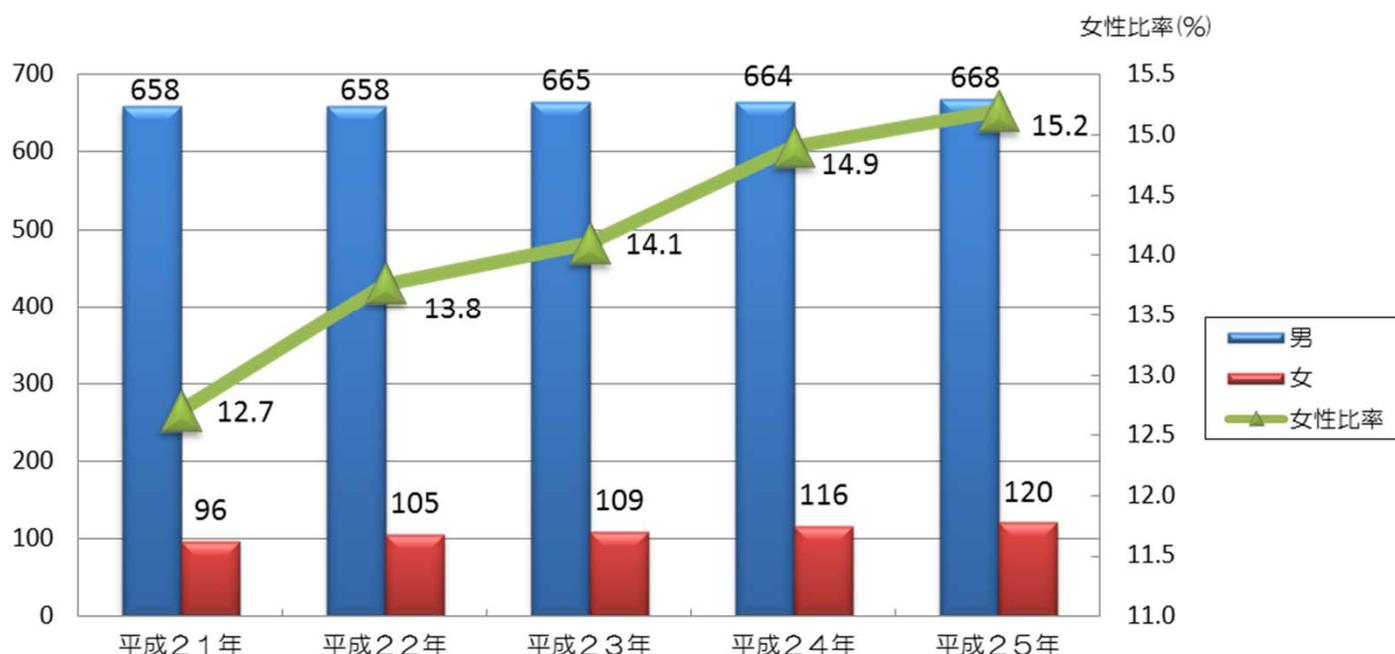
- 実験はおもしろそうと思いました。
- 大学の研究の具体例を知ることができて、大学での研究に興味をわきました。
- 進路選択の流れがよくわかりました。
- 大学生活を身近に感じることができました。
- 植物病理学に興味を持ちました。
- 食物繊維について深く考えたことはなかったですが、今日の授業でいろんなことを知ることができました。私も食品について学びたいと思います。

岐阜大学の女性教員・女子学生の比率（現状）

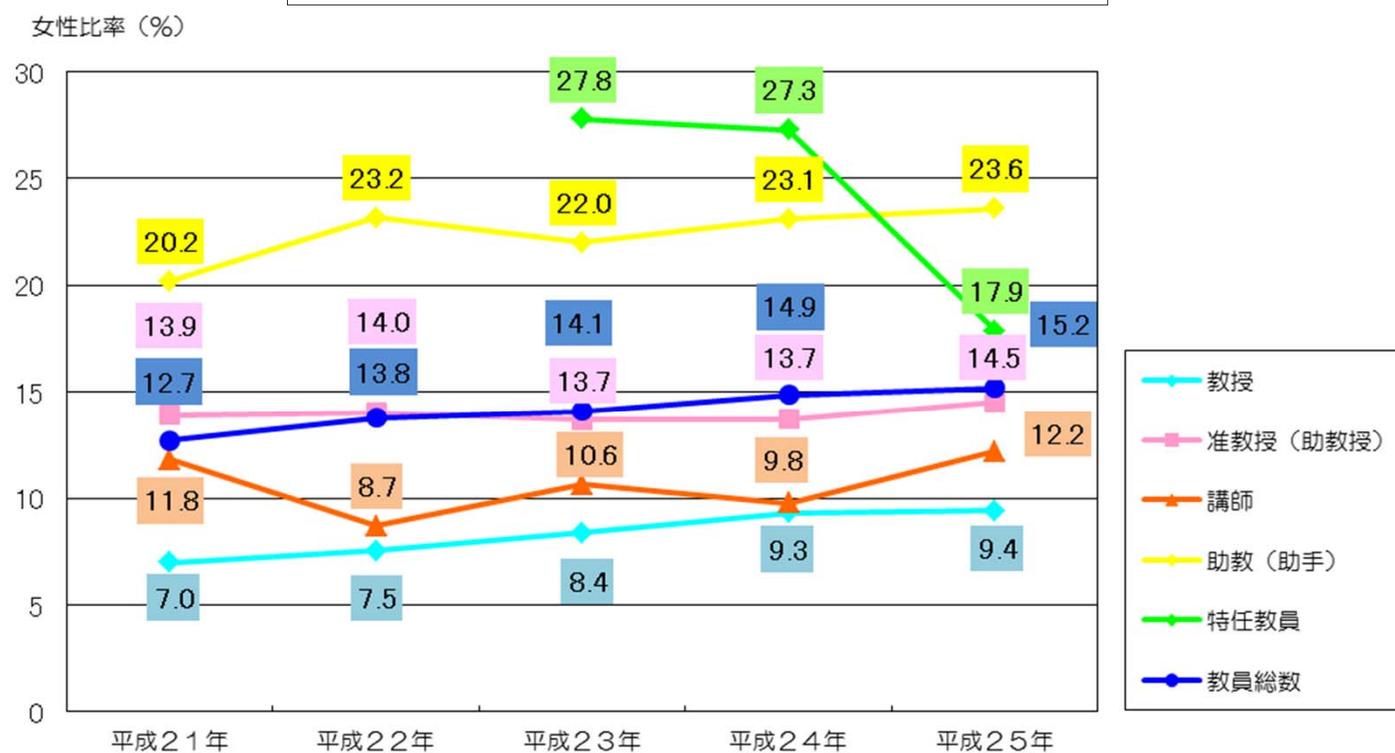
岐阜大学は、平成22年10月に「岐阜大学男女共同参画宣言・行動計画」を制定し、性別に関わりなく、個性を尊重し能力を発揮できる環境づくりに取り組んでいます。

平成27年までに17%以上の比率を目標として掲げていることから、平成25年5月1日現在の岐阜大学における女性教員および女子学生の比率現状をお知らせし、現状を確認することを趣旨としています。

岐阜大学における教員数及び女性比率の推移

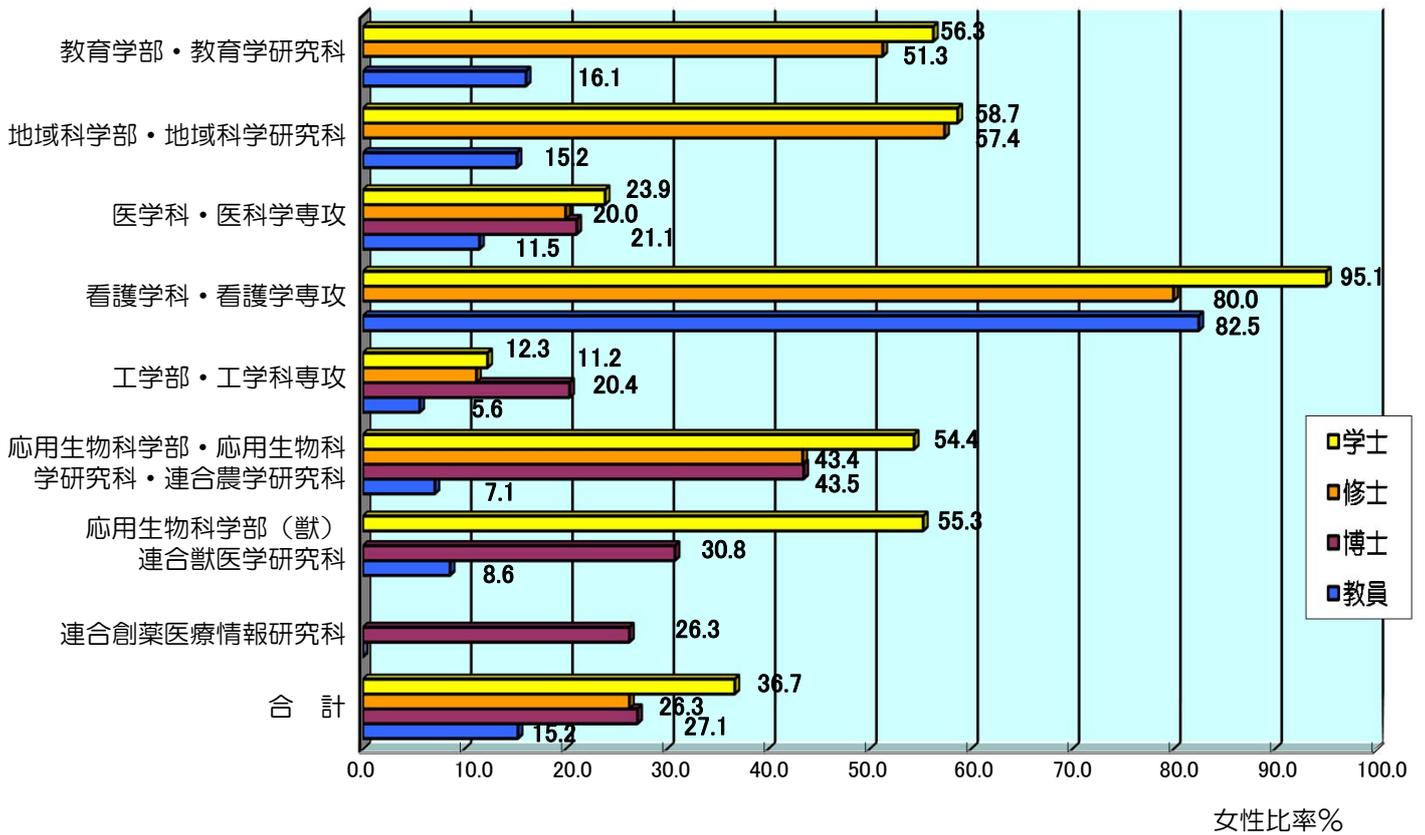


岐阜大学における教員の職種別女性比率の推移

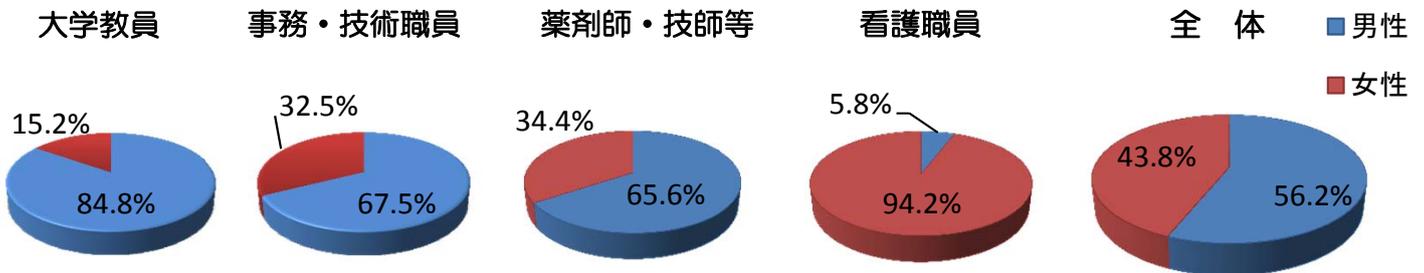


(学校基本調査報告書より)

岐阜大学における女性教員、女子学生の分野別比率



職員別男女の比率



市民公開講座「社会で活躍する女性獣医師」が開催されました



平成25年9月21日(土)、岐阜大学サテライトキャンパスにおいて、第156回日本獣医学会学術集会市民公開講座「社会で活躍する女性獣医師」が開催され、70名の参加がありました。

公開講座では、活躍中の4名の女性獣医師が講演を行いました。その中で、日本獣医生命科学大学の入交眞巳先生は、これまでのいろいろな経験から、性別からくる得意不得意を受け入れ、「女性」であることの利点をうまく使って獣医学に貢献しようと考えられるようになったとお話しされました。



▲講演する女性獣医師

岐阜大学男女共同参画推進室(人材開発部職員育成課男女共同参画係) URL: <http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/>



〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 Tel: 058-293-3378 Fax: 058-293-3396 E-mail: sankaku@gifu-u.ac.jp

*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。